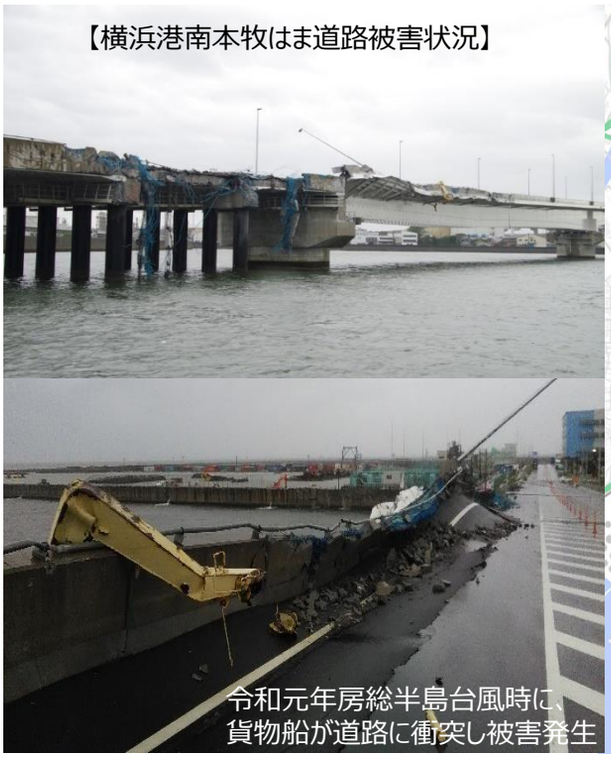
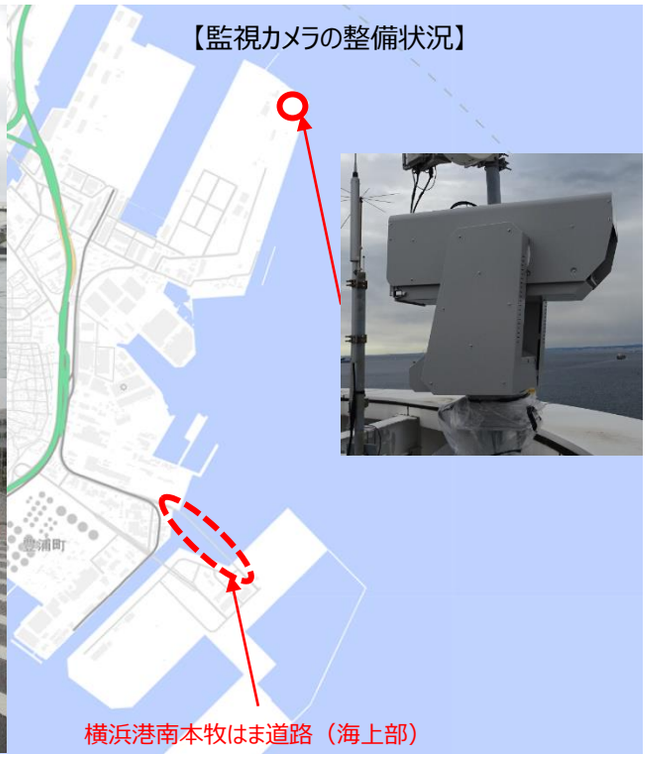
監視カメラの整備により、走錨等に起因する重大事故を未然に防止する（神奈川県横浜市）

事業者：国土交通省　海上保安庁





対策名： 62　走錨事故等防止対策

海上交通

主たる施策グループ： 4-1）サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下による国際競争力の低下

事業名： 船舶交通安全基盤整備事業

ポイント
- **監視カメラの整備により海域監視体制を強化**
- **船舶の走錨等に起因する重大事故を未然に防止し、道路への船舶衝突による通行止め等を回避**

地域の概要・課題

近年、台風等の自然災害が激甚化、頻発化する中、令和元年房総半島台風においては、強風等により貨物船が走錨したことにより、横浜港南本牧はま道路に衝突し通行止めになるなど、物流等に甚大な影響が生じました。

見込まれる効果

監視カメラを整備することにより、海域監視体制を強化し、走錨した船舶へ情報提供を早期に行うことで横浜港南本牧はま道路への船舶の衝突を回避することが期待できます。

これに伴い、通行止めによる物流への甚大な影響を及ぼす事故を未然に防止することが見込まれます。

事業の概要

走錨事故等防止対策の一環として、横浜港南本牧はま道路周辺海域の監視体制を強化し、船舶の走錨等に起因する重大事故を未然に防止するため、横浜本牧ふ頭に監視カメラを整備しました。

【監視カメラで見た はま道路周辺海域の状況】